英語コミュニケーションⅠ

学科・学年	全学科・１年	単位数	３	教科書・教材	All Aboard! English Communication Ⅰ ワークブック（東京書籍）

１．学習の目標

英語学習を通して、英語の特徴や仕組みを理解し、同時に日本語や日本文化を見直し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養い、思考力、集中力、持続力を身につける。

２．学習の内容

学習内容	主な学習活動
各単元を学習しながら、単語テスト、復習テストなどで、定着しているかを確認して、定期考査で仕上げる。	CDなどからの音声を聞きながら音声を確認し、Q&Aなどで本文の確認をして、ペアワークで、単語や音読を行う。単語テストや復習テストなど、定期考査を通して定着度を確認する。

３．担当者からのメッセージ

英語は言葉です。まず声に出して発音すること、そして自分で書いて、読んで、話すことが大事です。習った表現はどんどん使う。それが、英語を理解し、覚え、好きになる方法です。

外国映画を英語の音声で観るなど、積極的に教科書以外の生の英語にも触れてください。また、英検等の英語関連の資格試験は、ジュニアマイスターのポイントに加算されますのでぜひ挑戦してください。

英語コミュニケーションⅡ

学科・学年	全学科・２年	単位数	３	教科書・教材	All Aboard! English Communication II ワークブック（東京書籍）

１．学習の目標

自分の考えを英語で表現できるようにし、英語を使って積極的に他者とコミュニケーションを図ろうと努力して最終的には実用英検準２級程度の学力を目指す。

２．学習の内容

学習内容	主な学習活動
各単元を学習しながら、単語テスト、復習テストなどで、定着しているかを確認して、定期考査で仕上げる。	CDなどからの音声を聞きながら音声を確認し、Q&Aなどで本文の確認をして、ペアワークで、単語や音読を行う。単語テストや復習テストなど、定期考査を通して定着度を確認する。

３．担当者からのメッセージ

英語は言葉です。まず声に出して発音すること、そして自分で書いて、読んで、話すことが大事です。習った表現はどんどん使う。それが、英語を理解し、覚え、好きになる方法です。

外国映画を英語の音声で観るなど、積極的に教科書以外の生の英語にも触れてください。また、英検等の英語関連の資格試験は、ジュニアマイスターのポイントに加算されますのでぜひ挑戦してください。

論理・表現Ⅰ

学科・学年	全学科・３年	単位数	２	教科書・教材	BIG DIPPER English Logic and Expression Ⅰ、ワークブック（数研）

１．学習の目標

話すこと[やり取り・発表・書くこと]の３つの領域を中心とした発信力を強化するため、論理の構成や展開を工夫して、話したり、書いたりして伝える又は伝え合うことができるようになることを目標としている。さらには実用英検準２級程度の学力を目指している。

２．学習の内容

学習内容	主な学習活動
各単元を学習しながら、ペアワーク、ワークブック等で、定着しているかを確認して、定期考査で仕上げる。	問題演習やペアワーク等で、定着度を確認する。

３．担当者からのメッセージ

英語は言葉です。まず声に出して発音すること、そして自分で書いて、読んで、話すことが大事です。習った表現はどんどん使う。それが、英語を理解し、覚え、好きになる方法です。

外国映画を英語の音声で観るなど、積極的に教科書以外の生の英語にも触れてください。また、英検等の英語関連の資格試験は、ジュニアマイスターのポイントに加算されますのでぜひ挑戦してください。

コミュニケーション英語Ⅰ

学科・学年	専攻科（陶磁科学芸術科） ・１年	単位数	１	教科書・教材	英語でアート！（マール社）

１．学習の目標

自分の考えや作品について英語で表現しようと努力し、英語を使って積極的に他者とコミュニケーションを図ろうと努力する。

２．学習の内容

学習内容	主な学習活動
英会話の基本となる語彙・フレーズを学び、アーティストのSNSを利用した活用方法を学び、実際にSNSで用いる英語表現について学び、アート批評に関する語彙やフレーズを学ぶ。	英会話のシミュレーションや、SNSを利用した活用方法を学び、海外へ作品を紹介する際のポートフォリオの作成方法やEメールの書き方、実際に個展などで紹介する際の表現方法を身に着ける。

３．担当者からのメッセージ

自分の作品を伝えるためのツールとして英語を用いることができれば、世界中のアーティストたちやアートに関わる人たちと繋がることができます。そのためにはまず習った表現をどんどん声に出してみましょう。この授業では英語を学ぶ者同士で英語のみで表現する時間をもうけます。外国人になりきって英語表現を楽しみましょう。

コミュニケーション英語Ⅰ

学科・学年	専攻科（陶磁科学芸術科） ・２年	単位数	１	教科書・教材	英語でアート（マール社）

１．学習の目標

自分の考えや作品について英語で表現しようと努力し、英語を使って積極的に他者とコミュニケーションを図ろうと努力する。

２．学習の内容

学習内容	主な学習活動
英会話の基本となる語彙・フレーズを学び、アーティストトーク用のフレーズやパーティでの会話など、場面に応じた英語表現、アート批評に関する語彙やフレーズを学ぶ。また、英語でのプレゼンテーションを仕方について学ぶ。	アートに関する語彙・フレーズを学び、英会話のシミュレーションを行う。また、実際に自分の作品を英語で紹介する。

３．担当者からのメッセージ

最終目標は、自分の作品について英語でプレゼンテーションを行うことです。そのゴールに向けて、必要な英語力をコツコツと身に付けてほしいと思います。卒業後、海外のアーティストとの交流を可能にして世界に羽ばたいてください。